

# SLA通信

〒460-0024 名古屋市中区正木1-2-8  
(財)シニアルネサンス財団内  
TEL 052 332 7883

## 第23号

### 【シニアライフ定年退職前後110番】実施報告



先日の電話相談活動については皆様のご協力を頂きまして大変ありがとうございました。ここにそのあらましを報告いたします。

3月10日、11日の2日間「定年退職前後の悩み110番」をテーマに全国一斉で電話相談を行いました。中部では、さらに「シニアライフ」をテーマに加え行いました。

参加した相談員は14名、支援員9名、電話は2台開設しました。会員の社会保険労務士も2名スーパーバイザーとして相談を支えました。

受付けした相談者は142名で、電話は100%受信状態となり、大勢の方がかけてもつながらなかったと思われます。相談された方は、まさに定年前後の方々に、55歳から65歳の方が約90%でした。

相談内容は、そのほとんどが厚生年金、国民年金、雇用保険などにかかわるもので、自身のこと、家族のことの受給にかかわる疑問、その金額、また失業による深刻な相談、失業給付についての不明なことなど、現在の社会情勢を示しています。また制度の改正が重なり複雑になるため、自身の受けられるあつかいが、よく解らないと、相談してくる方も多かったようです。

このような電話相談があることを、多くの人に知ってもらうのは、報道機関の協力が大きく今回も新聞、放送関係の方たちに直接お会いし、お願いした担当者の努力も成果につながったと思います。新聞により知った方も多く、テレビでは取材によるニュース報道を見て電話される方も多くありました。今回は、関東事務局のご努力でNHKラジオ全国放送の番組「ラジオ夕刊」に3月6日関東のSLA会員が出演されインタビューと電話相談について案内をされました。また中部としては、チラシを作成、配布しPRにつとめました。

今回のような相談テーマは法律に定められたことに従い答えるので、協会の事業としては、絶え間ない努力がいます。

● この相談を何で知ったか

新聞	54 (名) 42.2%	中日	朝日	毎日	読売	その他	不明
		39	6	1	7	1	
テレビ	43 (名) 33.6%	NHK	CBC	東海	名古屋		
		23	11	4	5		
ラジオ	26 (名) 20.3%	NHK	東海				
		25	1				
その他	5 (名) 3.9%	人づて	チラシ				14
		2	3				

「定年退職前後の悩み110番」では、放送局5社、新聞社5社を幹事で手分けをしてまわりましたが、知名度の低い協会で、とても大変な思いをしましたが幸いなことに、各マスコミで報道され、多くの相談電話が寄せられ、良い結果に終わりました。

\*スーパーバイザーとして（敬称略）

杉浦玲子 高梨泰子

\*相談員として、（敬称略）

小山静子 鈴木八重子(安城) 南谷紀美子 山下可子 大西フミ子 塩野高子

竹内くに子 保坂正子 木村秀子 斎藤立子 宮川和男 今泉治子 小澤節子

上記の方々のご協力をいただきました。幹事一同お礼を申し上げます。

ありがとうございました。

全国のまとめ

電話相談事務局（関東）からの集計報告。

「定年退職前後の悩み110番」相談内容内訳

実施日：平成13年3月10日(土)・11日(日)

相談受付人数：1,258名／相談受付件数1,639件

相談者数・地域別内訳

	東京	仙台	名古屋	大阪	広島	福岡	計	%
男性	296	78	83	137	48	56	698	55%
女性	259	51	59	83	33	75	560	45%
合計	555	129	142	220	81	131	1,258	100%

相談内容内訳・地域別内訳

		東京	仙台	名古屋	大阪	広島	福岡	計	%	順位
1	健康	0	2	1	1	7	0	11	0.0%	—
2	医療	21	15	9	42	11	11	109	6.7%	3
3	介護	3	0	0	1	2	0	6	0.4%	8
4	年金	544	111	148	190	61	153	1,207	73.6%	1
5	税金	10	3	3	14	5	3	38	2.3%	4
6	財形	7	1	0	3	1	0	12	0.7%	6
7	相続	3	0	0	1	1	0	5	0.3%	9
8	離婚	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	—
9	住居	1	0	2	0	0	0	3	0.2%	11
10	家族	0	1	1	1	0	1	4	0.2%	11
11	人間関係	0	0	3	2	0	0	5	0.3%	9
12	生きがい	0	2	2	3	1	0	8	0.5%	7
13	仕事	73	32	28	64	3	3	203	12.4%	2
14	終末期の選択	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	—
15	その他	0	8	4	4	0	12	28	1.7%	5
受付件数合計		662	175	201	326	92	183	1,639	100%	

\*\*\*幹事会の報告\*\*\*

第5回 8月12日(土) 出席者9名

1. 部会からの課題と報告
  - ・広報 SLA通信発行
  - ・地域 名古屋北部会の研修会
  - ・研修 パソコン研修について
2. 電話相談シニア110番の準備
3. 創立記念行事について

第6回 9月10日(日) 出席者12名

1. シニア110番開設にあたり広報活動打ち合わせ
2. 創立記念行事日程について

第7回 10月14日(土) 出席者9名

1. 各部会からの課題と報告
  - ・広報 SLA通信臨時号の発行
  - ・地域 名古屋北部会 生き生き教室の開催紹介
  - ・研修 パソコン教室実施後の問題点
2. シニア110番のまとめと反省
3. シニア110番相談員の反省会開催について
4. 記念行事の実施計画と準備

第8回 11月4日(土) 出席者7名

1. 各部会からの課題と報告
  - ・広報 通信発行と創立記念パーティ開催通知
  - ・地域 名古屋北部会 生き生き教室参加の呼びかけ
2. 創立記念パーティ会場確認、内容決め

第9回 12月9日(土) 出席者8名

1. 各部会からの課題と報告
  - ・研修 年金アドバイザー資格取得の研修の提案
2. 協会の運営と活動について話し合い

第10回 1月13日(土) 出席者8名

1. 特設電話相談「定年110番」実施について
2. 協会の今後の運営と、活動について検討

第11回 2月10日(土) 出席者9名

1. 特設電話相談「定年110番」の準備
  - ・役割分担取り決め

第12回 3月3日(土) 出席者10名

1. 休会者への復会の呼びかけの手続き
2. 13年度役員候補の選任手続き
3. 12年度通常総会の開催準備

第13回 3月24日(土) 出席者10名

1. 復会の呼びかけに対する処理
2. 13年度の事業計画案
3. 13年度予算案

## 協会は何をするのか

会長 大森政文

会長の任を受けて十ヶ月になりました。このような団体に関わった経験のない私にとっては、えらいこっちゃと、言うありさまでした。どのような、ねらい、目標をもって行動するのか戸惑ったままの今です。

ここで、改めて協会の会則をひらいてみます。

第三条 目的・・・(略)、会員の資質向上、会員間の情報交換、会員相互の互助親睦をはかり、SLA 地域活動の一層の活性化を図ることを目的とする。

第四条 事業・・・(略) 次の事業を行う。

1. 会員の資質向上のための研修会、講習会などの開催。
2. SLA活動に必要な情報の収集、調査分析、情報の提供。
3. 会員のための情報誌の編集。
4. SLAとして活動する場の情報提供。
5. 会員相互の親睦を目的とした諸行事の企画運営。

とあり、協会自体が直接社会のなかに現場を持って“汗”する活動はしないと読みとれます。

とまどいはここから始まりました。調べたことに基づいて述べる訳ではないので、確かではありませんが、会員のなかにはシニアライフアドバイザーとして活動の場を、協会が持っており、会員はそこに入っていけると、思われているように感じます。現在年2回の特設電話相談を協会が行いますが、これだけ？と、思われているのかもしれない。

昨年12月に行った協会の創立記念行事で財団の河合事務局長からアドバイザーの行動が親睦会に向かってはならないと警告されました。アドバイザーとして認められた折り、社会のなかで生活相談員として自主活動をするのを要請されましたが、私の見解が不足ですが一部を除き活動の盛り上がりはあまり知りません。

協会として、どう行動するのか。アドバイザーの活動により掘り出される社会の問題点を発言していく発言集団として、あるいは、アドバイザーの活動の支援をする、バックアップ集団として立場を作っていく、と考える一方、いや協会が主催者となりフィールドワークを受け持ち、育てる、とも考えます。

私の思いでは協会の存在の姿は薄いと思われます。10ヶ月も過ぎてその言葉は、けしからんと言われれば、素直に受けてお詫びします。

協会は何をするのか、改めて皆さんの意志にもとづく、ねらいをはっきりさせる機会があればと思います。

## 通常総会開催のお知らせとお願い

優秀な会員が多くいるのに、活躍の場がないといった不満、財団は何もしてくれない、協会も名ばかり。しかり、そうです。

会員が、自分たちの考え、力でやっていくしかないのです。その力の足りないところを財団や、協会に協力を求めて全員の力として、支えていかないと、協会は、そのうち解散されるのではないのでしょうか。財団は、会員からの働きかけを待っています。

何をしたらよいか？どうしたいのか。具体的で建設的な意見が、とても大切な時期ではないのでしょうか。会員全員の意識で、もう一度協会について、SLAの意義について考えてみましょう！！

### 平成12年度の通常総会をつぎの要領で開催します。

日時 平成13年4月22日（日） 午後1時から  
会場 名古屋市中区 高砂殿本店

総会終了後、今回は「協会はなにに向けて活動するのか」をテーマにして話し合いの会を行います。

会員の皆さんの意見、考えを今後の協会の運営の指針にしたいと思います。

つきましては、当日の意見交換とあわせ、前もって皆さんから運営に対する意見を出していただければ、会を進めるのに有効です。大森まで文書でおだしてください。

※正式のお知らせは4月に入ってからお届けします。

〒483-8118 江南市安良町郷中277 大森政文

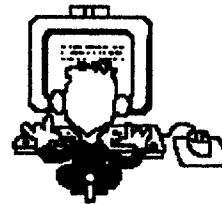
## 研修部会だより

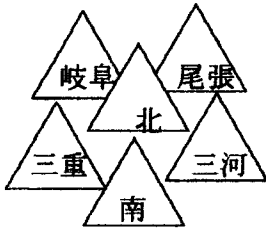
9月10日（日） 特設電話相談「シニアひとり暮らし110番」研修会 参加者41名  
高齢者の抱える問題とその事例・・・講師 名古屋弁護士会 太田重俊弁護士  
介護保険電話相談事例・・・講師 SLA 佐喜真鶴美

10月11日（水） パソコン研修会 参加者18名  
インターネットの基礎知識とネットサーフィン  
講師 SLA 田中芳雄

1月17日（水） パソコン研修会 参加者11名  
Windows 98の基本とワープロの初歩  
講師 SLA 田中芳雄

2月24日（土） 特設電話相談「シニア定年前後の悩み110番」研修会 参加者28名  
名古屋市介護保険の現状・・・講師 名古屋市健康福祉局 立松博氏  
雇用保険・厚生年金の改正を中心に・・・講師 SLA 杉浦玲子





## 地域部会だより

### 名古屋北部会

#### 実施報告

#### 家庭裁判所見学

宮川和男

日時 8月28日 PM13:00~16:00

会場 名古屋家庭裁判所7階会議室

参加者 14名

テーマ 家庭裁判所見学  
成年後見制度の研修

講師 新美顕文調査官

#### 内容

第一部は、施設見学ということで総務課の若い女性職員が案内がてら説明してくれた。6階の調査室、5階の調査室そして4階の審判定室など、どこも床を同じ高さにして、壁に落ち着いた絵が飾ってあり、努めて平静の心で話しあえる雰囲気づくりに努力しているのが感じられた。

第二部は、調査官の新美顕文氏から新しい成年後見制度について約1時間話をしていた。本人の判断能力に応じて後見、補佐、補助の3タイプがあること、将来を考えて任意後見契約を結べる事などを知った。

只今のところ、具体的事例に乏しいが、本人の同意を必要とする場合など、どこまで成年後見制度の趣旨が生かされるか問題も多いとの事であった。

#### 第5回生き生き教室講演会

宮川和男

日時 12月3日(日) PM14:00~16:00

会場 金山南ビル内の名古屋都市センター14階会議室

参加者 95名

テーマ 「寝込まない・ボケない～家庭料理のアドバイス～」

講師 中日文化センター料理教室室長 伊藤華づ枝先生

#### 内容

この長寿社会において、高齢者がいつまでも元気であるために、大切な食生活について話をされた。話の要点は、①肥りすぎない、②禁煙をしましょう、③塩分と脂肪のとりすぎは危険、というものでした。

帰りにアンケートを提出して頂いたが、「これからの一番の関心事で、良いお話を聞かせていただいた」という意見が多かった。

# 尾張部会

## 活動報告

### 議会の開会式を傍聴し県政の動きを知ろう

高田 昌子

日時 9月19日 AM 10:10~11:10

参加人員 8名

会場 愛知県庁議事堂

9月9日の県下の集中豪雨による被害で、議会が定刻に始まるか心配していましたが、数分の遅れで開会しました。ピリッと張りつめた議場で議案の日程説明、知事の挨拶があり、報道陣のフラッシュ〜ニュースの裏側も良く見えました。

あっという間に終わってしまいました。広い議場、報道の有り方、老若男女の傍聴者は皆関心をもって耳を傾けている人ばかりでした。

\* 県議会は年4回開かれます。6月、9月、12月、2月です。

\* 開かれた議会です。会員の皆様も県政に関心を持ち傍聴にお出かけください。

短時間で議会が終わってしまい、早々に解散しましたので、直接昼食会場にお出かけいただいた方にはご迷惑をお掛けしました。

広報の紙上を借りてお詫びいたします。

### あいち健康プラザ見学

日時 11月21日(火) AM11:00~14:00

会場 あいち健康プラザ

参加人員 7名(他地域1名)

当初の申し込みの人数から段々減ってきたが予定通り実施した。

広大な敷地の丘陵地に、保健、医療、福祉、生きがいを推進する総合施設ですが、日程から健康科学館を中心に見学しました。

科学館では、身体、脳、健康の科学展示をじっくり見、ヘルスサイエンスシアターでは、ハイビジョンで健康作りに関する映像を見学しました。他に入場者がいないので、尾張部会の貸し切りのようでした。

その後、宿泊棟の11Fで美しい景観を眺めつつ昼食をとり、お互いの情報交換をしました。

ゆったりした時の流れの中で、毎日健康ですごす事の大切さを痛感しました。

日頃、水泳に親しんでいる2名の会員の方が、温水プールで体力作りをされ、満足度100%のようでした。



## 「ふれあいいきいきサロン」と共に

中島衣代

平成9、10年度と幹事としてSLA活動に参加しておりました折り、山下会長の「地域での活動を」と言われる言葉をいつも耳にしておりました。そんな時私の住んでいる地域も高齢化と何も行事のない所になってしまっており、周りの方々と何か皆で集まってしまうと言う気持ちから、町内会、民生委員の方々のご協力も得て、社会福祉協議会の勤めている「ふれあいいきいきサロン」を平成10年11月発足いたしました。

名称は、「岩根つわぶきの会」とし、65歳以上の地域在住者で、楽しい仲間作り、地域づくりに賛同する方を会員（43名）とし、この主旨に協力してくださるスタッフも12名集まりました。

行事は月1回10時から14時まで、昼食、軽体操、健康チェック（保健婦による）に唱歌、内、外部のボランティアによる腹話術、マジックショー、オカリナ演奏、市の出前講座による学習、などなど、また春にはお花見、秋にはバス旅行など楽しみながら交流を深めております。会員のなかで俳句を指導して下さる方もおり、クラブ活動も生まれ、月1回会報、句集も出しております。

この会がきっかけで、市のボランティア連絡協議会にかかわり、「高齢者ゆめプラン研究会」に参加し、活動の場も広がってきております。SLAであるという支えがあって、やってこられたことを感謝しております。

## 岩根つわぶきの会を見学して

小澤節子

SLA会員の中島さんの活動にすごく関心のあった私は、3月15日に広報担当者と一緒に見学させていただきました。

こじんまりとした集会所の扉を開けたとたん、ウワツとした熱気の中から中島さんの笑顔が現れ、私たちを歓迎してくださいました。20名ほどの方が、すでに始まっている「骨董の話」に耳を傾けてみえ、どの方の顔もあかるく、熱心に傾聴され、時には笑いもある大変和やかな雰囲気でした。

午前中は講話、午後は3月生まれの方の誕生会という盛沢山の行事でした。昼食は、会員の方がそれぞれ順番で作った、栄養のバランスと薄味に工夫された、見た目も楽しい割り子弁当をいただきながら、周りの方と雑談しましたが、月一回のこの集いを非常に楽しみにされている様子がひしひしと伝わりました。中島さんが提唱され、たくさんの方の賛同を得てすてきな集いが発展し、ここまでくるには、色々なご苦労があった事と推察し、彼女の熱意に心から拍手をおくります。

## 会員さんからのお願い

たのし家からの お手伝いスタッフを募集!

5月18日で開設1周年を迎えます。マスコミ、口こみのお蔭で、たのし家さん（利用者さん）も火・木曜日共8名となりとても賑やかになってまいりました。

現在、専任スタッフ9名で運営していますが手が足りません。

☆ 食事作り、活動のお手伝いを月に1回でも2回でもかまいません。ご協力お願いいたします。ヘルシーで美味しい食事。直ぐに家庭で応用できます。たのし家さんとのおしゃべり等々。

講演会のお知らせ

テーマ<新世紀 心の時代> 講師 堀田 力氏

日時 4月15日（日）午後4時～5時30分

会場 名古屋栄ビル12階（地下鉄東山線、栄駅5番）

会費 2,100円（消費税込み）

問い合わせ 加藤厚子 TEL 0561-54-6654



## SLAの仲間をリレー形式で紹介する新コーナー

誰の発案かしらないが、小生にとっては、罪作りの企画である。病は一山越したとはいえ、まだ正常な生活にはほど遠く、後遺症に苦しむ毎日の時間を徒に過ごしている状態では、かなり過酷な作業である。

さて、愚痴はとにかく、水野三佐子さんには、この場を借りてお礼を申し上げたい。中部SLA会員はたしか五百人程度だと記憶しているが、このうち唯一何度もお手紙を頂いたのは、彼女だけからであった。誤解して欲しくないのは、皆から手紙が欲しかったわけではない。会社の友人からの音信は途絶えて、無りょうの日々を虚しく過ごしていた時期に、タイミングよく、思いがけない励ましの手紙は、受け取った者しか、嬉しさは解らないだろう。くどいようだが、手紙が来なかった事で文句を言っているのではない。

後日、何回もこの会の本質を考えた。他人を助ける方策を暗中模索しながら進もうと言う精神ではなかったのか。事、志を離れて本質を忘れ、何をすべきか考えずにいるのではないか。会の名前倒れになっていないか。自分の本意を再度見つめ直す必要はないか。

「幸福の手紙」も悪くはないが、本当に地域の老人に寄与するものがあるのか、ないのか。また、何を指そうとするのか、そろそろ再考の時が近づいている気がしてならない。さて、今や意識朦朧、支離滅裂な文章になってしまい、与えられた本題から大きく逸脱してしまった。この後は、頭脳明晰な水野さんの卓越した文を期待して筆を置くことにする。皆様の健康を祈りつつ、再びお会い出来る日を楽しみに、ご機嫌ようさようなら。

剛 善さん から 水野三佐子さんへ

わ 和 輪

バトンタッチをされた方は、次の号で、  
SLAの仲間へ渡して下さい。(原稿は400字程度)  
気楽にリレーを楽しみましょう。



### 高田昌子さん から 奥山裕子さんへ

友人に誘われSLA3期生を受講しましたが、活動の仲間入りして3年余です。年々多くの仲間とお友達になれることが、私にとってのSLAの魅力です。カレンダーの空白になることが嫌いな私はボランティア活動、趣味、たまには実益も兼ねた仕事もして、若い人のパワーを吸収しようと頑張っています。さて今度の登場は奥山裕子さんです。平成12年度尾張部会の世話係の仲間です。おつきあいしている間に彼女こそ「能ある鷹は爪を隠す」の諺がぴったりです。まず英会話が堪能で、主婦になってからアメリカの家庭でのホームステイの経験、また妹さんがイタリアで生活してみえるようで、ときどき外遊され彼女のセンスの良い洋服の着こなし、いつも注目しています。13年度SLAのどこかで必ず彼女の名前が出てくると思います。皆さん彼女に注目、活躍を期待しながら笑顔を思い浮かべて下さいね。



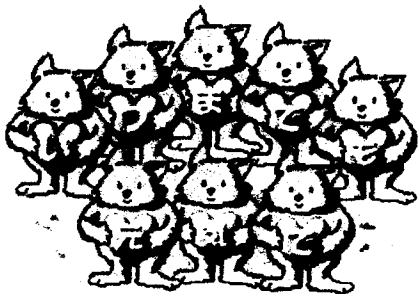
## 山下可子さんから浅野澄子さんへ

この、新しい強い企画に、チャンスをいただいて、ありがとうございます。今回バトンタッチしたい浅野澄子さん(2期生)について、SLA協会初代会長の福村正樹さんが言っておられた言葉で、急になつかしく思い出しました。

平成6年度、福村さんは、幹事会をまとめるために、大変なご苦労をしておられました。当時、しみじみと「浅野さんは、誠実で、会計の責務をきちんと実行され、一本芯が通っていて、それでいて、とっても温かい方ですね。」と。……4年後、私が会長を努めさせていただいた2年間、浅野さんの会計ご担当で、あらためて福村さんが語ってくださった「浅野さんの人物評」の確かさを実感しました。浅野さんは、正式のカウンセラー、レクレーションインストラクター、余暇生活相談員、県警委嘱被害少年サポーター等々の資格を持っておられます。しかし、それらの肩書きを少しも表面に出さないで、協会の、或いは地域のボランティア活動に生かしておられる浅野さんに見習うことの多い昨今です。

今、月2回英会話を浅野さん達と習っています。現在の会員13人。上達は望めませんが、なぜか魅力があって、もう2年続いています。何よりも心和む人間関係が財産です。ありがとう、浅野さん!今後ともよろしくお願いします。

この紙面をお借りして、無償のボランティア活動・地域活動を実践しておられるSLAの仲間たち、幹事の皆さんの蔭の力に心から敬意を表します。



あとがき

加齢は、すべての人に対して公平です。とはいうものの、若く見える人、老けて見える人がいます。その違いはどこにあるのでしょうか。頭の柔軟さ、物事に対する好奇心かな?何事にも前向きに明るく、美しく老いていくために努力したいと思っています。今後ともよろしくお願ひ申しあげます。 加藤恭子

卵の殻から首を出して、周りを見まわしているうちに(まだ、ヨチヨチ歩きもしないうちに)3月になってしまいました。幹事になり10ヶ月あまり、中部SLA協会が、会員の皆様にとって、魅力的な会として活動が活発になり、いろいろな行事に参加して下さる方が、多数あるようにとの願ひで努力して来ました。今後も、皆様のご意見をお気軽にお寄せ下さい。松本敏子

広報の大役を仰せつかり「出来るかしら」と不安の中でのスタートでしたが、好奇心旺盛な性格で、思うように操れないパソコンをこれでもかこれでもかと挑戦して、少しでも目に留まる会報をとスタッフ一同奮闘しました。お蔭さまで皆様に助けられて、ようやく2年が過ぎようとしています。パソコンに操られた本当に長がい2年間でした。インターネット、Eメール友達もたくさん出来て、新しい分野での楽しみがまた一つ増えました。

ここ2、3年、退会者・休会者・住所変更等の移動で、会員さんから新しい名簿の希望があり、幹事会で検討し、3月末現在で名簿の発行を予定しています。ありがとうございました。

加藤愛佐子